

2025年12月期 第1Q 決算説明会資料

2025年5月16日(金)



We Craft Your Imagination.

01 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

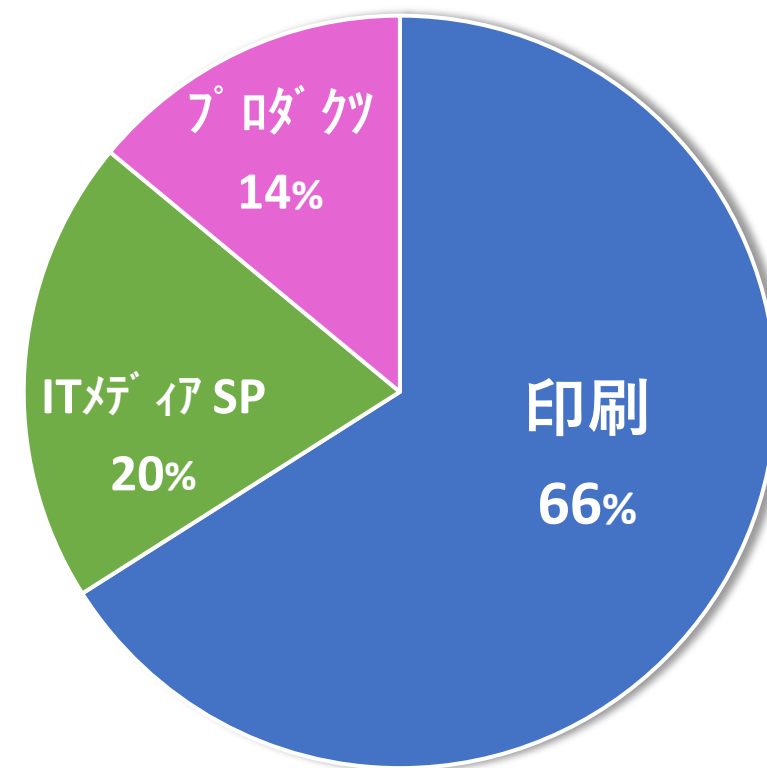
売上増加の内容

2025年12月第1Q ----- 連結子会社 **38社***
売上高 **21,696**百万円

2024年12月第1Q ----- 連結子会社 **38社**
売上高 **19,570**百万円

+2,126百万円 **10.9%増**

売上構成比



2025年3月末38社のうち、1社は貸借対照表のみ連結

01 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

売上増加の内容

2025年12月第1Q ----- 連結子会社 **38社***
売上高 **21,696**百万円

2024年12月第1Q ----- 連結子会社 **38社**
売上高 **19,570**百万円

+2,126百万円 **10.9%増**

新規企業連結による影響

※PL

望月印刷	2024年 4月～	1Q
共同製本	2024年 4月～	1Q
アスコム	2024年 4月～	1Q
Sakae Plus	2024年12月～	1Q
STUDIO ARC	2024年12月～	1Q
アイ・ディー・エー	2024年12月～	1Q
ハルプロモーション	2025年 1月～	1Q
アエックス	2025年 1月～	1Q



⇒売上増加分 約**20**億円

2025年3月末38社のうち、1社は貸借対照表のみ連結

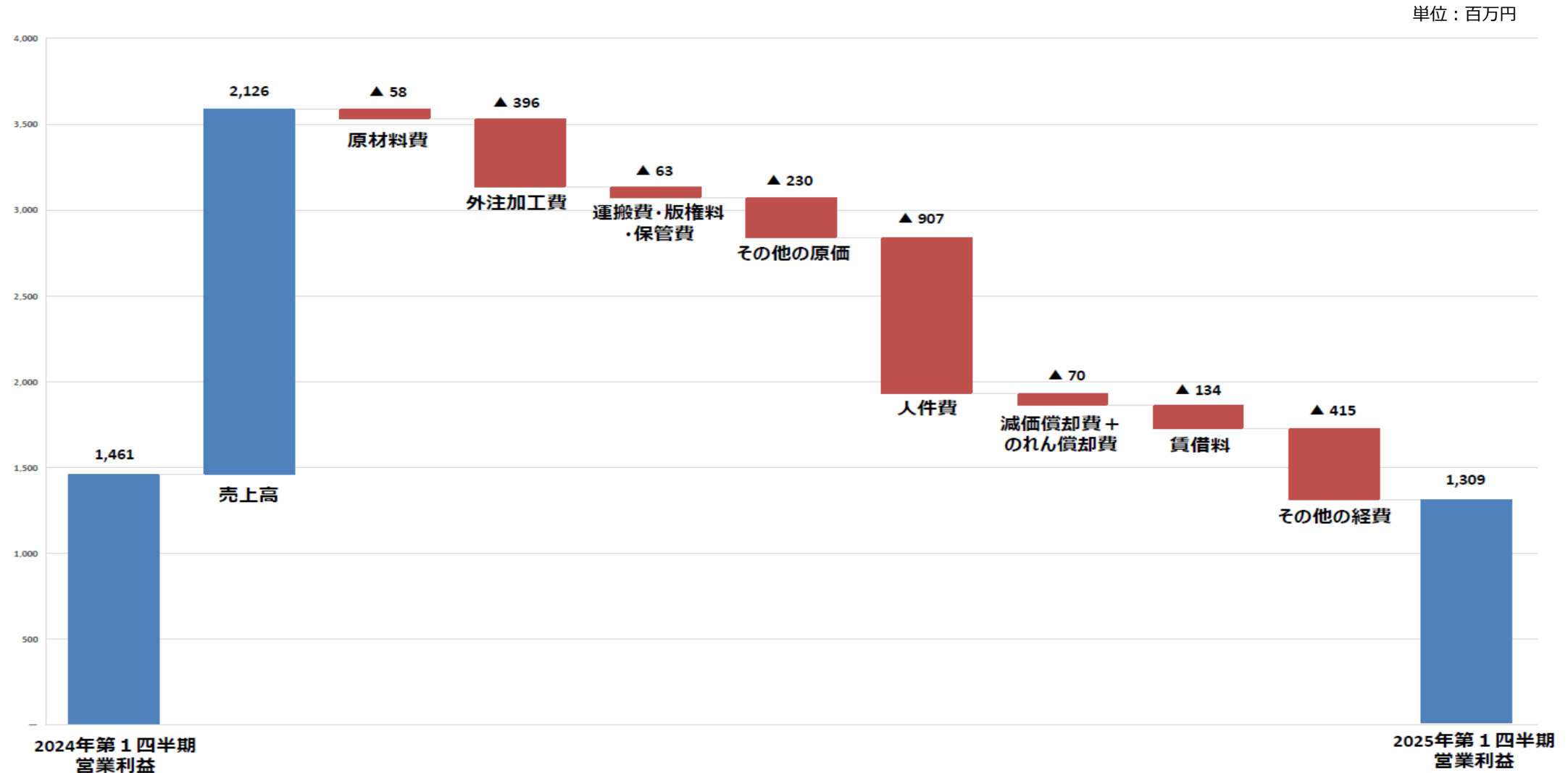
01 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

決算内容のハイライト

売上高 10.9%増 人件費 16.5%増 売上総利益率 30.7% ⇒ 31.8% 付加価値の増加 + 内製化率向上 人件費の上昇 売上高営業利益率 7.5% ⇒ 6.0%	支払利息 47百万円 増加
	短期借入金 4,900百万円 減少 社債 3,999百万円 増加 長期借入金 6,325百万円 増加
	自己株式 630百万円 増加
	純資産合計 15,992百万円⇒17,363百万円

01 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

決算内容のハイライト



01 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

FY2025 1Q 事業上のアクション

ポイント①

M&Aによる事業強化

横浜マテリアルの子会社化

→クリスタル及び革製品の加工 新たな商材の拡充

DNTIの子会社化

→事業会社基幹システムの開発

フジプラスの子会社化

→関西地域における印刷リソースの拡充

03 新規グループ参画会社②

横浜マテリアル株式会社

横浜市旭区
(議決権比率100.0%)

クリスタル記念品の老舗ブランド

横浜マテリアル株式会社は、法人様の周年記念や社内表彰、プレミアム景品、認定証などから、個人のお客様のお祝い記念品やペットメモリアルなどまで、幅広くご利用いただけるクリスタル記念品を製造・販売している会社です。加工は国内の工場で行っており、透明度の高い光学ガラスの内部へレーザー彫刻を施したり表面にカラー加工を施す技術によりオリジナルのクリスタル記念品を中心にお作りします。高い技術力、豊富な商品力、的確な提案力に自信があります。



03 新規グループ参画会社②

株式会社DNTI

東京都千代田区

2025年3月より連結（議決権比率97.3%）

デジタルイノベーション、DX構想策定支援、ERP導入支援/データ連携サービス

株式会社DNTIは、「明日の当たり前をともに創る」というMissionのもと、最先端のデジタル技術を活用し、大手企業様から中堅・中小企業様まで、デジタル化（DX）や基幹システムのモダナイゼーション（シンプル化とDXの最適な融合）を支援しています。ワークショップを通じて課題を丁寧に抽出し、解決策を提案することで、企業様の意識改革や事業成長を後押しします。また、AIやブロックチェーンなどの先端技術を活用したシステム開発を通じて、それぞれのお客様に最適なサービスを提供しています。私たちは、お客様の課題解決に寄り添いながら、デジタル技術を活用した新しい価値の創出を目指します。



03 新規グループ参画会社②

株式会社フジプラス

大阪市北区

2025年6月より連結（議決権比率100.0%）

印刷・販売促進支援・インターネットサービスの融合

大阪市の本社に加え、兵庫県伊丹市の生産本部（伊丹工場）、東京支店を拠点に、クリエイティブから印刷プロダクト、さらにデジタルコンテンツやマーケティング分野も加えた総合力で日々変化するお客様ニーズに対応した幅広いサービスを展開しています。私たちは「感動」を「つくる」会社です。お客様にとっての「感動」とは、驚き、感激、幸せ、便利、快適、の総称。時代に求められるベンチャーマインドを大切にしながら、お客様と向き合い、さらなる進化の道を探っています。



01 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

FY2025 1Q 事業上のアクション

ポイント①

M&Aによる事業強化 後発事象（2Q）

シルキーアクトの子会社化

→生産キャパシティの大幅拡大（クリアファイル）

トラストの子会社化

→新たな商材の拡充（卓上カレンダー）

01 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

FY2025 1Q 事業上のアクション

ポイント②

事業の統合・再配置

リングストンとカタオカプラセスの合併 2025年7月1日
→ポリエチレン商材を扱う2社の経営資源を一元化

田中産業とMGSの合併 2025年7月1日
→MGSの営業組織と製造組織の統合

01 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

FY2025 1Q 事業上のアクション

ポイント③

アセットアロケーションの変更

不動産の売却

→不動産の売却による特別利益の計上 + 設備投資による生産性の向上

長期資金の借り入れ

→金利上昇に対応し、長期固定化

04 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

(単位：百万円)

	2025年12月期 第1四半期 (A)	2025年12月期計画 (B)		2024年12月期 第1四半期 (C)	差異 (A - C)	
	金額	金額	対計画比 進捗率	金額	金額	対前期比 増減率
売上高	21,696	85,000	25.5%	19,570	2,126	10.9%
営業利益	1,309	3,600	36.4%	1,461	▲ 151	▲ 10.4%
営業利益率	6.0%	4.2%	—	7.5%	—	—
経常利益	1,541	3,200	48.2%	1,540	1	0.1%
経常利益率	7.1%	3.8%	—	7.9%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,389	5,500	43.4%	1,028	1,360	132.2%
当期純利益率	11.0%	6.5%	—	5.3%	—	—
EBITDA (営業利益ベース)	1,777	5,850	30.4%	1,858	▲ 81	▲ 4.4%
EBITDA (経常利益ベース)	2,125	6,030	35.3%	2,008	117	5.9%

※EBITDA (営業利益ベース) = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額
EBITDA (経常利益ベース) = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

04 2025年12月期1Q 連結会計期間の概況

(単位：百万円)

		2025年12月期第1四半期	2024年12月期第1四半期	前期比増減	増減率
a	売上高	21,696	19,570	2,126	10.9%
b	原材料費	4,427	4,369	58	1.3%
	商品仕入	107	▲ 3	111	－ %
	外注加工費	5,235	4,838	396	8.2%
	運搬費・版權料・保管費	785	722	63	8.8%
	その他の原価	166	46	119	256.2%
a – b		10,974	9,597	1,376	14.3%
	その他の販売費	355	182	173	95.1%
	人件費	6,410	5,502	907	16.5%
	減価償却費	429	385	43	11.3%
	のれん償却費	38	11	26	239.4%
	賃借料	552	417	134	32.2%
	租税公課	107	100	6	6.8%
	貸倒費用	▲ 3	9	▲ 13	－ %
	その他の経費	1,775	1,526	248	16.3%
営業利益		1,309	1,461	▲ 151	▲ 10.4%
	その他の営業外収入	529	147	381	258.4%
	支払利息	▲ 92	▲ 44	▲ 47	－ %
	持分法投資損益	30	16	13	82.8%
	その他の営業外費用	▲ 235	▲ 40	▲ 195	－ %
経常利益		1,541	1,540	1	0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益		2,389	1,028	1,360	132.2%

04 2025年12月期1Q 連結貸借対照表 (資産の部)

(単位：百万円)

科目	2025年12月期 第1四半期		2024年12月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動資産	42,053	52.0%	34,857	46.4%	7,195	20.6%
現金及び預金	18,521	22.9%	12,244	16.3%	6,277	51.3%
受取手形、売掛金及び契約資産	13,723	17.0%	14,350	19.1%	▲ 626	▲ 4.4%
電子記録債権	1,908	2.4%	2,349	3.1%	▲ 440	▲ 18.7%
その他	7,899	9.8%	5,914	7.9%	1,985	33.6%
固定資産	38,765	48.0%	40,246	53.6%	▲ 1,480	▲ 3.7%
有形固定資産	27,851	34.5%	29,139	38.8%	▲ 1,287	▲ 4.4%
建物及び構築物	8,309	10.3%	8,452	11.3%	▲ 143	▲ 1.7%
機械装置及び運搬具	2,743	3.4%	2,709	3.6%	34	1.3%
土地	15,193	18.8%	17,369	23.1%	▲ 2,176	▲ 12.5%
その他	1,604	2.0%	606	0.8%	998	164.5%
無形固定資産	1,348	1.7%	1,391	1.9%	▲ 43	▲ 3.1%
のれん	400	0.5%	388	0.5%	11	3.1%
その他	947	1.2%	1,003	1.3%	▲ 55	▲ 5.5%
投資その他の資産	9,565	11.8%	9,715	12.9%	▲ 149	▲ 1.5%
投資有価証券	5,689	7.0%	5,745	7.7%	▲ 55	▲ 1.0%
その他	3,875	4.8%	3,969	5.3%	▲ 93	▲ 2.4%
資産合計	80,818	100.0%	75,103	100.0%	5,714	7.6%

04 2025年12月期1Q 連結貸借対照表 (負債及び純資産の部)

(単位：百万円)

科目	2025年12月期 第1四半期		2024年12月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動負債	38,724	47.9%	44,367	59.1%	▲ 5,643	▲ 12.7%
買掛金	4,158	5.1%	3,842	5.1%	315	8.2%
短期借入金	18,600	23.0%	25,000	33.3%	▲ 6,400	▲ 25.6%
1年内償還予定の社債	500	0.6%	—	— %	500	— %
1年内返済予定の長期借入金	8,000	9.9%	7,000	9.3%	1,000	14.3%
その他	7,465	9.2%	8,525	11.4%	▲ 1,059	▲ 12.4%
固定負債	24,729	30.6%	14,743	19.6%	9,986	67.7%
社債	3,999	4.9%	—	— %	3,999	— %
長期借入金	17,300	21.4%	10,975	14.6%	6,325	57.6%
退職給付に係る負債	50	0.1%	54	0.1%	▲ 3	▲ 7.1%
その他	3,379	4.2%	3,713	4.9%	▲ 334	▲ 9.0%
負債合計	63,454	78.5%	59,111	78.7%	4,343	7.3%
株主資本	16,745	20.7%	15,206	20.2%	1,538	10.1%
資本金	100	0.1%	100	0.1%	—	— %
資本剰余金	4,593	5.7%	4,663	6.2%	▲ 69	▲ 1.5%
利益剰余金	14,589	18.1%	12,351	16.4%	2,238	18.1%
自己株式	▲ 2,538	▲ 3.1%	▲ 1,907	▲ 2.5%	▲ 630	33.1%
その他の包括利益累計額	98	0.1%	153	0.2%	▲ 54	▲ 35.5%
非支配株主持分	520	0.6%	632	0.8%	▲ 112	▲ 17.8%
純資産合計	17,363	21.5%	15,992	21.3%	1,371	8.6%
負債・純資産合計	80,818	100.0%	75,103	100.0%	5,714	7.6%

05 2025年12月期 連結会計期間の計画

FY2025 想定する事業計画

05 2025年12月期 連結会計期間の計画

FY2025 想定する事業計画

ポイント①

事業利益率の改善への具体策を実行

利益率の改善

売上を追わず、付加価値を提供

- 人件費上昇＋原価上昇＋金利上昇に対して生産性向上で対応するFY2025
- 印刷製造事業について大幅な設備の移転と投資を行う
⇒FY2026以降にて収益性改善が期待できる

05 2025年12月期 連結会計期間の計画

FY2025 想定する事業計画

ポイント②

金利上昇懸念へのアクション

資金計画

有利子負債

→FY2024末 42,975百万円⇒FY2025末 44,300百万円

金利上昇に対応して長期短期バランス調整を進める

→固定化にかかる費用をFY2025に計上
⇒将来にわたる金利上昇懸念に対応する

05 2025年12月期 連結会計期間の計画

FY2025 想定する事業計画

ポイント③

人件費増加と人時生産性の向上

物価高騰を背景とした給与水準の見直し

2025年4月1日 139名の新卒が入社

印刷製造事業の新基幹システム構築に着手

多様性を包括するシステムを2027年中で構築⇒DNTI

新人事システムの稼働（2025年7月）

①人的資本の活性化

②グループ会社の人財を積極的に育成し活性化させる

05 2025年12月期 連結会計期間の計画

FY2025 想定する事業計画

ポイント④

生産性の向上に積極投資

特別利益と特別損失

事業構造の改革関連の費用 640百万円

- ①生産性向上を目的とする事業拠点の集約（移転を含む）
- ②生産性向上を目的とする設備投資（廃棄＋新設）
- ③不動産売却に伴う移転費用等

不動産売却益

約3,500百万円＋約1,400百万円＝約4,900百万円を活用する

05 2025年12月期 連結会計期間の計画

事業拠点の集約整理

ポイント⑤

関東・中部・関西

全国のマーケットニーズに対応

→ グループ間での設備移動

→ 新規設備投資

→ 拠点の統合

東京・大阪について 名古屋に

グループ営業拠点を8月開設予定

基幹システムの整備

- 販売管理システム
- 製造管理システム
- IT統制・内部統制システム
- 人事統合システム
- 機械設備の更新



05 2025年12月期 連結会計期間の計画

事業拠点の集約整理

ポイント⑤

印刷製造事業

FY2025⇒FY2026

- 印刷拠点の集約
- 輪転機の廃棄売却
- カラー枚葉機の移設・廃棄売却＋後加工設備投資
 - ⇒ 設備の大規模リプレイスを進めるが、生産能力は むしろ向上する
- 大量印刷物への対応⇒付加価値印刷物への対応

04 2025年12月期 業績の見通し (連結)

(単位：百万円)

	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (計画)	前期比	
			差額	増減率
売上高	80,100	85,000	4,899	6.1%
営業利益	4,351	3,600	▲ 751	▲ 17.3%
経常利益	4,198	3,200	▲ 998	▲ 23.8%
EBITDA (営業利益ベース)	6,298	5,850	▲ 448	▲ 7.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,871	5,500	2,628	91.5%
EPS (円 銭)	58円92銭	118円11銭		
1株当たり年間配当金 (円 銭)	13円00銭	14円00銭		
期中平均株式数 (千株)	48,735	46,565		

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料作成時点において、

当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、

当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、

当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われないようにお願いいたします。



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

U R L : <https://www.jcpbg.co.jp/>

E-mail : cp@jcpbg.co.jp

T E L : 03-5817-3061 IR担当